

# 体育科学習指導案

平成29年11月17日 5校時

場所 桐生市立桜木小学校体育館

6年1・2組 指導者 下田 隆志

## 授業の視点

友だちと一緒にイメージを広げて表現するために、2人組の小グループからはじまる活動やお互いの積極的な対話活動を取り入れたことは有効であったか。

### I 単元名 チャレンジ ザ “対決”

### II 単元の考察

#### (1) 教材観

表現運動は、自己の心身を解き放してリズムやイメージの世界に没入してなりたって踊ることが楽しい運動であり、互いの良さを生かしあって仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。表現では、いろいろな題材から表したいイメージをとらえ、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ることを目的としている。勝ち負けにこだわらず、友だちと楽しく自由に体を動かすことができるので、運動を不得意としている児童でも、自分で動きを考えたり友だちのまねをしたりして積極的に動くことができると考える。また、「走る・止まる・転がる・跳ぶ」の動きの中に「速く・遅く」「大きく・小さく」などの様々な動きの工夫を取る入れることで、全身運動にもつながると考えられる。

本単元では、児童にとって激しい感じで、変化と起伏のある動きにしやすい「対決」を取り上げた。高学年の児童は、好みが多様化、個別化し、変化と起伏のある個性的な表現を志向する一方で、踊ることに対する恥ずかしさや抵抗感が大きくなる時期でもある。そこで、毎時間の導入心と体をほぐす運動を取り入れたり、いろいろなペアやグループを作って友だちと一緒に対話をしながら動いたり、見せ合ってお互いに認め合ったりする活動を取り入れることで、表現の楽しさを実感させることができると考える。

「表現運動」というと教師側も避けがちな単元かもしれないと考える。教師側から表現する楽しさを十分に発揮していきたい。

#### (2) 児童の実態（男子17名 女子30名 計47名）

本学年児童は、明るく素直で活発な児童が多い。本単元を行うにあたっての事前アンケートでは90%の児童が体育の授業が好きと答えていた。どちらともいえないと答えた児童も種目によっては好きと答えていた。また、運動会の組み立てでも、休み時間を返上して倒立練習に励んでいた姿も見られた。

高学年になると「表現運動」イコール組み立て体操となりがちだが、学校体育実技指導

資料「表現運動系及びダンス指導の手引き」（文部科学省・2013）の高学年における表現の「はじめの段階」を参考に、体で表現することの楽しさや喜びを味わえるようにしていきたい。

### （3）教材の系統

低学年	中学年	高学年	中学1年
表現リズム遊び	表現運動	表現運動	ダンス
ア. 表現遊び イ. リズム遊び （リズム遊びに簡単なフォークダンスを含む）	ア. 表現 イ. リズムダンス （フォークダンス）	ア. 表現 イ. リズムダンス （フォークダンス）	ア. 創作ダンス イ. フォークダンス ウ. 現代的なリズムのダンス

### Ⅲ 指導目標

①「対決」から表したいイメージを捉え、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ることができるようにする。 (技能)

②「対決」の表現に進んで取り組み、互いの動きのよさを認め合い、助け合って練習や発表をしたり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。 (態度)

③課題解決の仕方や自分のグループのよさを知るとともに、自分やグループの課題に応じた動きを選んだり、対話活動を通して自分やグループのよさを生かす動きを見つかりすることができるようにする。 (思考・判断)

### Ⅳ 評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
○「対決」の表したい感じを表現して踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、表現に進んで取り組みようとしている。 ○友だちと協力し合って練習や発表をしようとしている。 ○運動する場の安全を保持することに気を配ろうとしている。	○課題の解決の仕方を知るとともに、自分やグループの課題に応じた動きを選んだり構成を変えたりしている。 ○自分やグループのよさを知るとともに、練習や発表会でよさを生かす動きを見つけている。	○「対決」から表したいイメージを捉え、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ることができる。

### Ⅴ 指導方針

・ウォーミングアップでは、音楽をかけて体操をしたり、踊ったり、友だちと関わって動いたりすることで、心身を解放できるようにする。

- ・いろいろな友だちとペアやグループを組ませたり、お手本となる動きをしている児童を紹介してみんなでその動きをまねしたりすることで、自分にはなかった動きに気付かせ、個人の動きに広がりをもたせる。
- ・ペアグループで見せ合う場面では、「動きの工夫を取り入れてる」「体全体を使っている」などを提示し、友だちのよいところが見つけれられるようにする。そして、よいところを対話を通して伝え合うことでお互いが認め合えるようにする。

## VI 指導計画 (全4時間計画 本時は3時間目)

主 な 学 習 活 動	時間	評 価 項 目 (評 価 方 法)
○オリエンテーション ・学習課題の確認。 ・心と体をほぐす ・学習の進め方を知る。	1	・学習課題や学習の進め方、学習の約束を理解することができる。 (関心・意欲・態度：観察) ・音楽に合わせて、体を動かすことができる。 (関心・意欲・態度：観察)
○2人の「対決」 ・心と体をほぐす。 ・「対決」からイメージすることを出し合う。 ・いろいろな「対決」の特徴的な場面や動きをいくつか選んで、即興的に動いてみる。	2	・友だちと意見を出し合いながら、積極的に取り組むことができる。 (関心・意欲・態度：観察) ・イメージを即興的に動きにして踊ることができる。 (技能：観察)
○いろいろな「対決」 ・心と体をほぐす。 ・「対決」から見つけたイメージを動きにし、それをつなげてひとまとまりの動きにしてみる。	<b>3 本時</b>	・友だちと対話をしながら、積極的に取り組むことができる。 (関心・意欲・態度：観察) ・友だちと協力して表現することができる。 (技能：観察)
○発表会 「チャレンジ ザ “対決”」 ・発表会の進め方を知る。 ・前時に記録した映像を振り返りながら、グループの課題を見つけ、それらを解決するためにいろいろな動きの工夫をする。 ・感想を出し合い、単元のまとめをする。	4	・自分やグループの課題に応じて、動きを工夫することができる。(思考・判断：観察) ・動きの工夫を取り入れて、ひとまとまりの動きで表現することができる。 (技能：観察) ・友だちのよさを見つけることができる。 (思考・判断：観察)

## VII 本時の学習 (本時は4時間中の3時間目)

### 1 ねらい

- ・友だちと一緒に「対決」の動きを工夫して、表現することができる。(技能)

## 2 準備・資料

教師：CD

## 3 本時の展開

学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 点 【評価項目】
1 ウォーミングアップ ○音楽をかけて準備運動をする。 ・全体で ・グループで	10	・リズムに乗って楽しく体操したり、踊ったりすることで、心身を解放できるようにする。
2 本時のめあてを確認する。		・表現運動の授業での約束事を確認させる。 「恥ずかしがらずに！体全部を使って！ 認め合おう！」
友だちと「対決」の動きを表現してみよう。		
3 前時の「対決」の動きを振り返る。		・体全部を使って動くように声かけをする。
4 今までの中から気に入った対決を選び、2人組で表現してみる。 ・思いつくまま動いてみる。		・3つの動きを選ばせ、動いてみるようにさせる。 ・特徴的な動きをしている児童を紹介する。
5 グループになり、お互いの動きを対話をしながら、つなげたり、選んだりして動いてみる。		・2人組の「対決」から、人数を増やしてできる「対決」にはどんなものがあるかを話し合わせる。 ・終わりがわかるように、最後はポーズで終わるように声かけをする。 【友だちと一緒に動きを工夫して、表現することができる。(技能：観察)】
6 グループで見せ合う。		・動きの工夫や体全体で表現していたかなど、見る観点を示し、一人一つよかったところを発表させる。
7 本時の学習を振り返り、学習のまとめをする。		・どんな動きがあったかを振り返る。 ・友だちとの対話や教え合うことで表現にどんな変化があったかを思い出し、次につなげる。